

上級クラス Advanced Class	A(SS)–COMP
<u>クラス名 Title</u> <small>ぎ のうべつ じょうきゅう さくぶん</small> 【技能別】 上級 作文 Advanced: Composition	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> <small>いえもと たろう</small> 家本 太郎 (IEMOTO, Tarou)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>はいふ</small> プリント配布 <small>さんこうとしょ だいがく だいがくいんりゅうがくせい にほんご ろんぶんさくせいへん</small> [参考図書：『大学・大学院留学生の日本語4 論文作成編』(アルク)]	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>じゅぎょう まいかいろんじゅつぶん か じていど がくじゅつてきろんじゅつ ひつよう</small> 授業では毎回論 述文を課す(400字程度)。プリントでも学 術的論 述に必要 <small>ひょうげん まな ひょうげん あ</small> な表 現を学 び、表 現レベ ルを上げていく。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>にほんご がくじゅつろんぶん か ちから がくじゅつてきひょうげん</small> ①日本語でレポ ートや学 術論 文などを書 く力 をつけるために、学 術的表 現で <small>つか ぶんけい ひょうげん てんかい しゅうとく</small> よく使 われる文 型、表 現や展 開パ ター ンを習 得する。 <small>いんようぶんけん もち ろん ぎじゅつ み</small> ②グラ フや引 用文 献を 用いて、それについて論 じる技 術を身につける。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>じゅぎょう か ろんじゅつかだい ひょうか しゅうりょう しゅつせき</small> 授 業で書 いた論 述課 題の評 価、修 了テ ストと出 席による。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u>	

上級クラス Advanced Class	A(SS)–CONV
<u>クラス名 Title</u> <small>めい</small> 【技能別】 上級 会話 <small>ぎ のうべつ じょうきゅう かいわ</small> Advanced: Conversation	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> <small>かわかみ しきこ</small> 河上 志貴子 (KAWAKAMI, Shikiko)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>ひつよう おう じゅぎょうちゅう しりょう はいふ</small> 必要に応じて、授業中に資料を配布する。	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>じゅこうしゃ じっさい かいわ ぼめん おも</small> 受講者が実際に会話した場面で、思うようにコミュニケーションが取れず、困難を <small>おぼ けいけん さいげん さいげん かいわ もと こん</small> 覚えたという経験をロールプレイで再現する。再現された会話を基に、3～4人か <small>らなる むんだいてん あら だ ひょうげん しかた かいわ なが けんとう</small> らなるグループで問題点を洗い出し、表現の仕方や会話の流れについて検討してモ <small>デル かいわ さくせい かく かいわ ひろろ ぜんいん ひょうか あ</small> デル会話を作成する。各グループはモデル会話を披露し、クラス全員で評価し合う。 <small>また、 げんだいしゃかい もんだい と あ ぼんぐみ きろくえいが とくしゅう</small> また、現代社会のさまざまな問題を取り上げたニュース番組、記録映画や特集 <small>を しちよう こうとうはつびょう まじ せんもんでき</small> を視聴して、ペアワーク、ディスカッションや口頭発表を交えながら、より専門的 <small>な ないよう せつめい れんしゅう いけん の れんしゅう おこな</small> な内容について説明する練習、また意見を述べる練習を行う。ニュース解説な <small>どの とくゆう ひょうげん み ふくざつ なんい ど たか ことがら じぶん お か</small> どの特有の表現を身につけ、複雑で難易度の高い事柄を、自分のことばに置き換え <small>て てきかく つた れんしゅう</small> て的確に伝える練習をする。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>にちじょうかいわ あいて せっきょくてき かいわ と き</small> ・ 日常会話では、相手と積極的な会話のやり取りができるようにする。また、聞 <small>いた じょうほう てきかく あいて つた</small> いた情報を的確に相手に伝えることができるようにする。 <small>だいがく けんきゅうせい ぎろん ば てきせつ ひょうげん つか せつとくりょく はなし</small> ・ 大学での研究生活や議論の場では、適切な表現を使って説得力のある話が <small>できる ろんせつ しゅし せいかく はあく じぶん</small> できるようにする。ニュースや論説などの主旨を正確に把握し、自分のことばで <small>説明 せつめい じぶん いけん つた あいて いけん き</small> 説明できるようにする。また、自分の意見をまとめて伝え、相手の意見を聞いて <small>はんろん どうい の</small> 反論・同意を述べるようにする。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>しゅつせき さんかたいど こうとうはつびょう しゅくだい そうごう ひょうか じゅぎょうちゅう せっきょくてき</small> ・ 出席、参加態度、口頭発表、宿題を総合して評価する。授業中に積極的 <small>はつわ じゅうし</small> に発言することを重視する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u>	

上級クラス Advanced Class	A(SS)－HONOR
<u>クラス名 Title</u> <small>めい</small> 【技能別】 上級 敬語 Advanced: Honorifics	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> <small>いへもと たろう</small> 家本 太郎 (IEMOTO, Tarou)	
<u>教科書 Textbook</u> プリント配布 <small>さんこう としよ かね こひろゆき</small> <small>けいご</small> [参考図書：金子広幸『にほんご 敬語トレーニング』(2006,ASK)、 <small>おがわよしみ</small> 小川誉子美・ <small>まえ だなおこ けいご ちゅうしん</small> <small>たいじんかんけい ひょうげん たいごうひょうげん</small> 前田直子『敬語を中心とした対人関係の表現－待遇表現－』(2003,スリーエー ーネットワーク)]	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>そんけいご けんじょうご ていねいご</small> <small>にほんご たいごうひょうげん</small> <small>た げんご くら</small> 尊敬語、謙讓語、丁寧語からなる日本語の待遇表現は、他の言語に比べてかなり <small>とくい</small> <small>ちゅうきゅういじょう</small> <small>がくしゅうしや</small> <small>うんよう ふあん かん</small> り特異で、中級以上のレベルの学習者でも、その運用に不安を感じるがあります。 この授業では、 <small>じゆぎょう</small> <small>じょうき</small> <small>こうどく かいだい</small> <small>うんよう かん しどう</small> 上記テキストを講読し、課題をこなしながら、運用に関する指導 <small>おこな</small> を行います。 <small>ほうげん</small> <small>てきぎ かいせつ</small> 方言やアクセントについても、適宜、解説していきます。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>けいご かん</small> <small>うんようのうりよく かくとく めざ</small> コミュニケーションな敬語に関する運用能力の獲得を目指します。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>じゅこうしせい</small> <small>しゅつせきりつ</small> <small>さいしゅう</small> <small>ひょうか</small> 受講姿勢・出席率・最終レポートで評価します。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u>	

上級クラス Advanced Class	A(SS)–R
<u>クラス名 Title</u> <small>めい</small> 【技能別】 上級 講読 <small>ぎ のうべつ じょうきゅう こうどく</small> Advanced: Reading	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> <small>こうし</small> <small>あおたに まさやす</small> 青谷 正妥 (AOTANI, Masayasu)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>きょうかしょ</small> <small>いのうえせいび あがわひろゆき しんちょうぶんこ</small> 『井上成美』阿川弘之 (新潮文庫)	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>じゅぎょう すす かた</small> <small>どっかい</small> 読解のクラスですが、 <small>かんれんじこう はな あ すこ はい</small> 関連事項の話し合いも少しは入ります。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>とうたつ もくひょう</small> <small>かた ぶん な とも せんそう はんたい にほんさいご かいぐんたいしょう い さま まな</small> やや堅めの文に慣れると共に、戦争に反対した日本最後の海軍大將の生き様を学びます。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>ひょうか ほうほう</small> <small>じゅぎょう さんか</small> 授業への参加。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>た ちゅうい</small> <small>むづか</small> 難しいので、 <small>ほんぜんたい よ こと で き</small> 本全体を読む事は出来ません。 <small>とちゅう と</small> 途中を飛ばしたりします。	

上級クラス Advanced Class	A(SS)–G
<u>クラス名 Title</u> <small>ぎ のうべつ じょうきゅう そうごうぶんぽう</small> 【技能別】 上級 総合文法 (1) Advanced: Grammar (1)	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> パリハワダナ ルチラ (PALIHAWADANA, Ruchira)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>はいふ</small> プリント配布 <small>さんこうとしょ とき つか にほんごひょうげんぶんけい にほんごぶんけい</small> [参考図書: 『どんな時どう使う日本語表現文型500』 (アルク)、 『日本語文型辞典』 (くろしお出版)]	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>にほんごのうりょくしけん きゅう きゅうしけん ひょうげんぶんけい はばひろ と あ</small> 日本語能力試験 N1 (旧 1 級 試験) レベルの表現文型を幅広く取り上げながら、それらの意味・用法を解説する。学んだ文型が実際に使われている新聞記事や随筆などを用いた、様々な応用練習を通して運用力の習得を目指す。 <small>さら げんごかん やしな にほんごひょうげん</small> 更に、言語観を養うために日本語表現についてのクイズやディスカッションもおこなう予定である。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>にほんごのうりょくしけん きゅう きゅうしけん ひょうげんぶんけい しゅうとく</small> 日本語能力試験 N1 (旧 1 級 試験) レベルの表現文型を習得しながら、それらの背景にある日本語の仕組みについても理解力を養う。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>きまつ しょう かだいていしゅつ はつひょう じゅぎょうさんかどあい しゅつせき そうごう ひょうか</small> 期末テスト、小テスト、課題提出、発表、授業参加度合、出席を総合して評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>ちゅうきゅう そうごうぶんぽう こと ぶんぽうこうもく と あ</small> 中級Ⅲ総合文法(1)、(2)クラスで異なった文法項目を取り上げるので、1コマのみの受講も可能である。N1レベルの全文法項目を習得したい場合は、春学期、秋学期継続して(1)、(2)両クラス(合計4クラス)を受講すること。	

上級クラス Advanced Class	A(SS)–G
クラス名 Title <small>めい</small> 【技能別】 上級 総合文法 (2) Advanced: Grammar (2)	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
講師 Instructor <small>こうし</small> パリハワダナ ルチラ (PALIHAWADANA, Ruchira)	
教科書 Textbook <small>きょうかしょ</small> プリント配布 <small>はいふ</small> [参考図書: 『どんな時どう使う日本語表現文型500』 (アルク)、 『日本語文型辞典』 (くろしお出版)]	
授業の進め方 Content of the class <small>じゅぎょう すず かた</small> 日本語能力試験 N1 (旧 1 級 試験) レベルの表現文型の中から重要な項目を選択し、それらの意味・用法を解説する。取り上げる表現を使った文章の読解や例文の作成などの応用練習を通して運用力の習得を目指す。 取り上げる文法項目について、気付きにくい誤用やわかりにくい使い方などに焦点を当てながら適宜ディスカッションを行う。母語との比較などを行うこと によって、それらの表現の使い方の原理を習得する。	
到達の目標 Goals of the class <small>とうたつ もくひょう</small> 日本語能力試験 N1 (旧 1 級 試験) レベルの表現文型を習得しながら、それらの背景にある日本語の仕組みについても理解力を養う。	
評価の方法 Assessment <small>ひょうか ほうほう</small> 期末テスト、小テスト、課題提出、授業参加度合、出席を総合して評価する。	
その他の注意 Miscellaneous <small>た ちゅうい</small> 中級Ⅲ総合文法(1)、(2)クラスで異なった文法項目を取り上げるので、1コマのみの受講も可能である。N1レベルの全文法項目を習得したい場合は、春学期、秋学期継続して(1)、(2)両クラス(合計4クラス)を受講すること。	

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SS)/COMP</p>
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>めい 【技能別】 上級 文章法基礎 Advanced: Reading / Composition</p>	<p>プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ない]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>こうし かわかみ ようすけ 川上 陽介 (KAWAKAMI, Yosuke)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>きょうかしょ しんぶん 新聞 (または雑誌) の記事を選んで、コピーを配布する。</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>じゅぎょう すず かた しんぶん きじ よ 新聞記事を読み、その内容の理解・把握を確認した上で、自分の意見や解釈を話し あ しゅ こんにち にほん と ま もんだい と あ よてい 合う。主として、今日の日本を取り巻く問題を取り上げる予定である。自分の国と ひかく せっきょくてき いけん だ の比較など、積極的に意見を出してもらいたい。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>とうたつ もくひょう しんぶん きじ どう 新聞記事 (あるいは同レベルの文章) を正確に読解する力を養うこと。 じぶん いけん かんが ひょうげん ちから やしな 自分の意見・考えをまとめて、表現する力を養うこと。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>ひょうか ほうほう しゅつせきじょうきょう さんかたいど かんじしやう ふくしゅう ひょうか 出席状況・参加態度・漢字小テスト・復習テストにより、評価する。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p>た ちゅうい</p>	

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SS)–R/G</p>
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>ぎ のうべつ じょうきゅう どっかい ぶんぼう 【技能別】 上級 読解・文法</p> <p>Advanced: Reading / Grammar</p>	<p>プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ない]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>ほんだ あかり 本多 朱里 (HONDA, Akari)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>ちゅう じょうきゅうにほん ごきょうかしょ にほん しょうたい だい ほん とうきょうだいがくしゅつぱんかい 『中・上級日本語教科書 日本への招待 第2版』(東京大学出版会)</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>テキストを音読しながら、意味を理解し、何を述べているのかを各自まとめてもらいます。文法的説明が必要な所は解説します。その後、その内容について、受講生でディスカッションをします。関連する資料を配ることもあります。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>やや難解な文章の読解や、日本語の文法のさらなる理解をめざすとともに、日本の文化や日常的な問題について自分なりに深く考え、まとめ、その意見を他の人に伝えられる力を身につけることを目標とします。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>出席、参加態度、レポートを総合して評価します。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p>テキストのコピーを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。予習する場合は、貸し出しのもの(「きずな」に置いてあります)を各自コピーすること。</p>	

上級クラス Advanced Class	A(SS)–LIS
<u>クラス名 Title</u> <small>めい</small> 【技能別】 上級 聴解 <small>ぎ のうべつ じょうきゅう ちょうかい</small> Advanced: Listening	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> <small>こうし</small> <small>ありもと まさよ</small> 有本 昌代 (ARIMOTO, Masayo)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>きょうかしょ</small> <small>じゅぎょう はいふ</small> 授業にて配布する。 <small>さまざまなメディア教材 (ニュースやドキュメンタリー、討論番組などの生教材)</small> <small>きょうざい どうろんばんぐみ なまきょうざい</small> を使用する。	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>じゅぎょう すず かた</small> <ul style="list-style-type: none"> • さまざまな分野におけるメディア教材を使用し、聴解力の向上を図る。 • 主にNHK『クローズアップ現代』などのアカデミックな番組を通し、教育、文学、福祉、環境、科学などの分野に関するアカデミックな語彙や表現の習得、理解を目指す。 • 情報の聞き取りやシャドーイング、内容に関するディスカッションも行う。 • 毎回、時事に関するリスニングの小テストを行う。 	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>とうたつ もくひょう</small> <ul style="list-style-type: none"> • 高度な日本語の聴解力を養い、情報の背景にある日本文化や社会事情に対する理解も深めることを目指す。 • アカデミックな語彙や表現の向上を目指す。 	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>ひょうか ほうほう</small> <small>しゅつせき じゅうし しょう さいしゅう</small> 出席を重視、小テスト、最終テスト	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>た ちゅうい</small>	

上級クラス Advanced Class	A(SD)–R
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>せんもんべつ じょうきゅう ろんぶんこうどく 【専門別】 上級 論文講読 Advanced: Reading</p>	<p>プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ある。ガイダンスをかねる]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>ながやま ひろあき 長山 浩章 (NAGAYAMA, Hiroaki)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>にほん づく てつがく ふじもとたかひろ にっぽんけいざいしんぶんしゃ 『日本のもの造り哲学』(藤本隆宏) 日本経済新聞社 (2004) かつがん かつがく やすおかまさひろ けんきゅうしょ 『活眼 活学』(安岡正篤) PHP 研究所 (2008)</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>こうどく ちゅうしん にほん せいぞうぎょうおよ にほん けいえい きそちしき かんが かつ ・講読を中心に日本の製造業及び日本の経営についての基礎知識と考え方を 学ぶ。 がくせい りんどく あと けいざいようご はいけいちしき かいせつ おこな ・学生が輪読をした後、経済用語や背景知識について解説を行う。 ひつよう おう えいぶんわやく しゅくだい だ ・必要に応じて英文和訳の宿題を出す。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>だいがくいん にゅうし ごうかく にほんごりよく しゅうとく ほ 大学院の入試に合格する日本語力を習得して欲しい。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>かい しゅつせき そうごうてき ひょうか テスト2回と出席などによって総合的に評価する。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p>なんど たか ようご かいせつ ようやく はいふ じゅんび 難度の高い用語の解説とポイントをまとめた要約を配布するのでテスト準備を すること。</p>	

上級クラス Advanced Class	A(SD)–R/G(CJ)
<u>クラス名 Title</u> <small>せんもんべつ じょうきゅう ぶんごぶんこうどく</small> 【専門別】 上級 文語文講読 Advanced: Reading / Grammar	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ある。ガイダンスをかねる]
<u>講師 Instructor</u> <small>もり まりこ</small> 森 眞理子 (MORI, Mariko)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>はいふ</small> プリント配布	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>ひょうじゆんにほんご しゅうとく お おも せんこう ぶんごぶん よ ようきゅう がくせい</small> 標準日本語の習得を終え、主に専攻で文語文を読むことを要求される学生に <small>たい ぶんご か ぶんしょう と あ ぶんぼうせつめい くわ き そこうどく おこな</small> 対して、文語で書かれた文章を取り上げ、文法説明を加えながら基礎講読を行 <small>めいじじだい にほん ぶんがく ぶんか れきし ほうりつ かん ぶんしょう ちゅうしん じゆんじこうどく</small> う。明治時代の日本の文学、文化、歴史、法律に関する文章を中心に、順次講読 <small>よてい ふくざわ ゆきち もりおうがい なかえちやうみん ぶんしょう あつか</small> していく予定である。これまでに、福沢諭吉、森鷗外、中江兆民などの文章を扱 った。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>きほんてき ぶんごぶん よ ぶん い み りかい てきせつ げんだいご お か</small> 基本的な文語文を読み、文の意味を理解し、適切な現代語に置き換えることができ る。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>しゅつせき じゆぎやうさんかたいど かだいていしゅつ さいしゅう ひょうか</small> 出席、授業参加態度、課題提出、最終テストによって評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>おも じんぶんけい がくせい たいしやう ぶんや がくせい じゅこう</small> 主に人文系の学生を対象とするが、どの分野の学生でも受講できる。	

上級クラス Advanced Class	A(SD)–R/COMP
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>せんもんべつ じょうきゅう ぶんしょうほう 【専門別】 上級 文章法</p> <p>Advanced: Reading / Composition</p>	<p>プレースメントテスト [ある]</p> <p>めんせつ 面接 [ある。ガイダンスをかねる]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>もり まりこ 森 真理子 (MORI, Mariko)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>はいふ プリント配布</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>にほんぶんか にほんしゃかい にほんじんろん げんだいぶんか あつか さまざま ぶんしょう 日本文化・日本社会および日本人論や現代文化を扱った様々なスタイルの文章を クラス全員で読み進める。</p> <p>よ あとかなら とうろん じかん じぶん いけん はっぴょう よ すす さい 読んだ後必ず討論の時間をとるので、自分の意見を発表すること。読み進める際、 ひつよう かくじん はつおん 必要があれば、各人の発音をチェックすることがある。</p> <p>ひと かい こうどく とうろん おこな ごと 一つのテーマにつき2–3回の講読・討論を行い、その後テーマにそったレポー トを提出する。</p> <p>ていしゅつ かくじん かなら くわ へんきやく せっきょくてき 提出された各人のレポートは必ずコメントを加え返却するので、積極的に ぶんしょう か れんしゅう 文章を書く練習をしてもらいたい。</p> <p>な お どんかいほう なんど たか ぶんしょう どんかいりよく ようきゅう はっぴょう さくぶん なお、読解法では難度の高い文章の読解力も要求されるが、発表や作文では かくじん げんざい かくじつ あ もくひょう 各人の現在のレベルを確実に上げることを目標とする。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>こうぎ りかい ひつよう じょうきゅう にほん ごぶん どんかいのうりよく たか じぶん 講義を理解するために必要な上級レベルの日本語文の読解能力を高め、自分の いけん あやま つた こうとうひょうげんのうりよく ぶんしょうか さくぶんのうりよく 意見を誤りなく伝えることのできる口頭表現能力や、文章化する作文能力を やしな 養う。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>いちがつき すく かい かだい ていしゅつ さいしゅう き 一学期に少なくとも1回の課題レポートを提出し、最終レポートを決められた きじつ か 期日までに書くこと。</p> <p>じゅぎょう しゅつせき こうどく ぎろん さんか 授業に出席して、講読・議論に参加すること。</p> <p>せいせきはんてい そうごうひょうか おこな 成績判定はこれらの総合評価によって行う。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 配布された文章は前もって必ず目を通し、疑問点を明らかにしておくこと。 2. 参考図書等は授業中に指示する。 	

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SD)–P/DIS</p>
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>せんもんべつ じょうきゅう けんきゅうはっぴょう しつぎおうとう 【専門別】 上級 研究発表・質疑応答 Advanced: Presentation / Discussion</p>	<p>プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ある。ガイダンスをかねる]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>ルチラ パリハワダナ (PALIHAWADANA, Ruchira)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>プリント配布 [参考図書:『大学と留学生のための論文ワークブック』(くろしお出版)、『トピックによる日本語総合演習—テーマ探しから発表へ—上級』(スリーエーネットワーク)、『大学・大学院留学生の日本語4 論文作成編』(アルク)]</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>どうにゅう もんだいていき もち ろんきょ けつろんていじ てんぼうていじ けんきゅう 導入、問題提起、データを用いた論拠、結論提示、展望提示などといった研究 はっぴょう かくぶぶん もち にほんごひょうげん つか かた まなぶ べつ ひと 発表の各部分で用いられる日本語表現の使い方を学ぶ。グループ別に、一つの テーマについて、アウトライン作成から実際の発表を行う段階まで実践を行 う。実践を通して日本語の論述スタイルに慣れつつ、日本語のプレゼンテーショ ンスキルを習得する。レジュメ、スライドなどの作成や質疑応答の練習なども行 う予定である。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>がくじゅつけんきゅうはっぴょう ひつよう にほんごひょうげん かくとくおよ 学術研究発表のために必要な日本語表現の獲得及びプレゼンテーションスキ ルの習得を到達目標とする。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>はっぴょう じゅぎょうさんかどあい かだいていしゅつ しゅつせき きじゅん ひょうか 発表、授業参加度合、課題提出、出席を基準に評価する。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p>	